

まちの声



今回のまちの声は、1区3町内に移住、起業された堀田一道さんからお話を伺いました。



2025年に岐阜県羽島市から猫を連れて妹背牛町へ移住し、4月末に「ライダーハウス五井旅館」をオープンしました。ライダーの聖地、北海道で旅人たちを迎えながら、妹背牛町を盛り上げていきたいと話す堀田さんに妹背牛町について伺いました。

Q 議会だよりは読んでいますか
A 拝読しています。妹背牛町について

いて学ぶことができるので、毎回楽しみにしています。

Q 妹背牛町の気についているところはありますか

A ペベル温泉が好きです。一日置きに利用しています。サウナも温泉の湯も良いですね。

Q 移住してきて、妹背牛町は住みやすいですか

A 正直、店が少なく外食や買い物に多少不便はありますが、人が優しく親切で良い町だと感じています。今後の町づくりが楽しみです。

Q 妹背牛町への要望や何かお気づきの点はありませんか

A 共同店舗ができたらいいなと思っています。出店したい人を募集し

て移住してもらおうと人口の増加にもつながるのではないかと思います。また、カーリングを活かしたまちおこしもっとできたらいいと思います。例えばカーリング場の命名権を販売し、企業に買っていただく事で通年の営業もできるのではないかなど。

Q 妹背牛町の今後について想いを伺います。

A 子供たちが大人になった時に、妹背牛町に残りたい、住み続けたいと思えるような魅力ある町になってほしいと思います。そのために既存のイベントでも子どもたちが参加したいと思えるような工夫をこらせるといいと思っています。



編集後記

6月に田中町長が急逝されたことによる町長選挙が8月に行われ滝本町長が誕生しました。12月には、北口副町長が議会の同意をもって誕生し、町民の大きな期待の中で令和8年に向けて盤石な町の体制が確立されたところであります。

さて、昨年8月に1回目の「議員カフェ〜フリーストークinもせうし」を開催し、たくさんの方のご参加をいただき、貴重なご意見を伺いました。本年も第2回目となる議員カフェを2月28日(土)を予定し、準備をしております。前回にも増してたくさんの方のご参加をお待ちしております。この議員カフェを通じて町民の皆様との距離を縮められることが、開かれた議会の一翼となればと思っております。

町民の皆様へ、ご意見・ご要望などがありましたらお知らせ下さいませ。また議会傍聴も、たくさんの方が傍聴頂ける事を望んでおります。

広報特別委員会

- 委員長 中山 義博
- 副委員長 佐々木和夫
- 委員 鈴木 正彦